

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	春日部市災害つよい街づくり（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	春日部市												
計画の目標	下水道整備（耐震対策・改築等）により浸水被害の軽減を図り、安全で快適な生活環境を維持することを目的とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	4,092	A	4,092	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	長寿命化計画に伴う設計及び改築に着手し、長寿命化計画対象のポンプ施設（雨水）3箇所の改築を目標とする。 長寿命化計画設計・改築率（ポンプ施設） 長寿命化計画設計・改築済ポンプ施設数/長寿命化計画設計・改築対象ポンプ施設数（5箇所）	0%	13%	34%
2	総合地震対策計画策定のための設計・対策に着手し、対象ポンプ施設（雨水）5箇所の耐震化を目標とする。 総合地震対策計画耐震補強率（ポンプ施設） 総合地震対策計画耐震補強ポンプ施設数/総合地震対策計画耐震補強対象ポンプ場（8箇所）	0%	25%	63%
3	会之堀川排水区内の下水道幹線（雨水）の整備率を48%（H29末）から59%（R4）に向上させる。 会之堀川排水区内の下水道幹線（雨水）整備率 会之堀川排水区内の下水道幹線（雨水）整備済面積/会之堀川排水区内の下水道幹線（雨水）整備対象面積	48%	51%	59%
4	春日部市ストックマネジメント計画に基づく改築の実施により標準耐用年数で更新を続けたライフサイクルコストと比較し4.3億円/年縮減する スtockマネジメント計画対象ポンプ施設のライフサイクルコスト縮減達成率 (標準耐用年数更新ライフサイクルコスト年平均8.2億円-Stockマネジメント計画対象施設実施ライフサイクルコスト) / 目標縮減額4.3億円	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
指標1は、同じポンプ施設に対し短期、中期長期の事業を行うことから、定量的指標は事業費で算出した。当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。																

A 基幹事業																						
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
下水道事業	A07-001	下水道	一般	春日部市	直接	春日部市	ポンプ場	改築	ポンプ施設長寿命化計画 (粕壁・赤沼・備後ポンプ場)	設計、改築	春日部市	■	■	■			1,315		策定済			
		長寿命化計画, 雨水分流式																				
	A07-002	下水道	一般	春日部市	直接	春日部市	ポンプ場	改築	ポンプ場総合地震対策計画 (粕壁・赤沼・備後・藤塚・緑町ポンプ場)	詳細設計、耐震補強	春日部市	■	■	■	■			397		—		
A07-003	下水道	一般	春日部市	直接	春日部市	管渠(雨水)	新設	会之堀川第一幹線(浸水対策)	□3,500×2,000×2, L=0.45km	春日部市	■	■	■	■	■		2,300	2.29	—			
A07-004	下水道	一般	春日部市	直接	春日部市	ポンプ場	改築	ポンプ場施設ストックマネジメント計画(赤沼、備後ポンプ場)	除塵機更新、高架水槽更新	春日部市					■		80		策定済			
	春日部市公共下水道ストックマネジメント計画																					
												小計						4,092				
											合計							4,092				

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制
春日部市公共事業評価監視委員会

事後評価の実施時期
令和5年12月19日

公表の方法
春日部市公式ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

粕壁、赤沼、備後ポンプ場の長寿命化計画対象設備の更新を実施したことにより老朽化による故障のリスクを低減できた。(R4長寿命化設計・改築率34%)
粕壁・赤沼・備後ポンプ場の施設を耐震補強を実施したことにより施設の耐震化が図られた。(R4総合地震対策耐震補強率38%)
公共下水道の整備を行ったことにより、「計画の成果目標」である会之堀川排水区内の下水道幹線(雨水)について、整備率の向上が図れたほか、「計画の目標」である浸水被害の軽減による安全で快適な生活環境の維持に資することができた。(R4整備率53%)
ストックマネジメント計画に基づき対策を実施したことにより、令和4年度でのポンプ場施設の改築投資額を約1.9億円に抑えつつ老朽化リスクを低減させることができた。(R4ライフサイクルコスト縮減率100%)

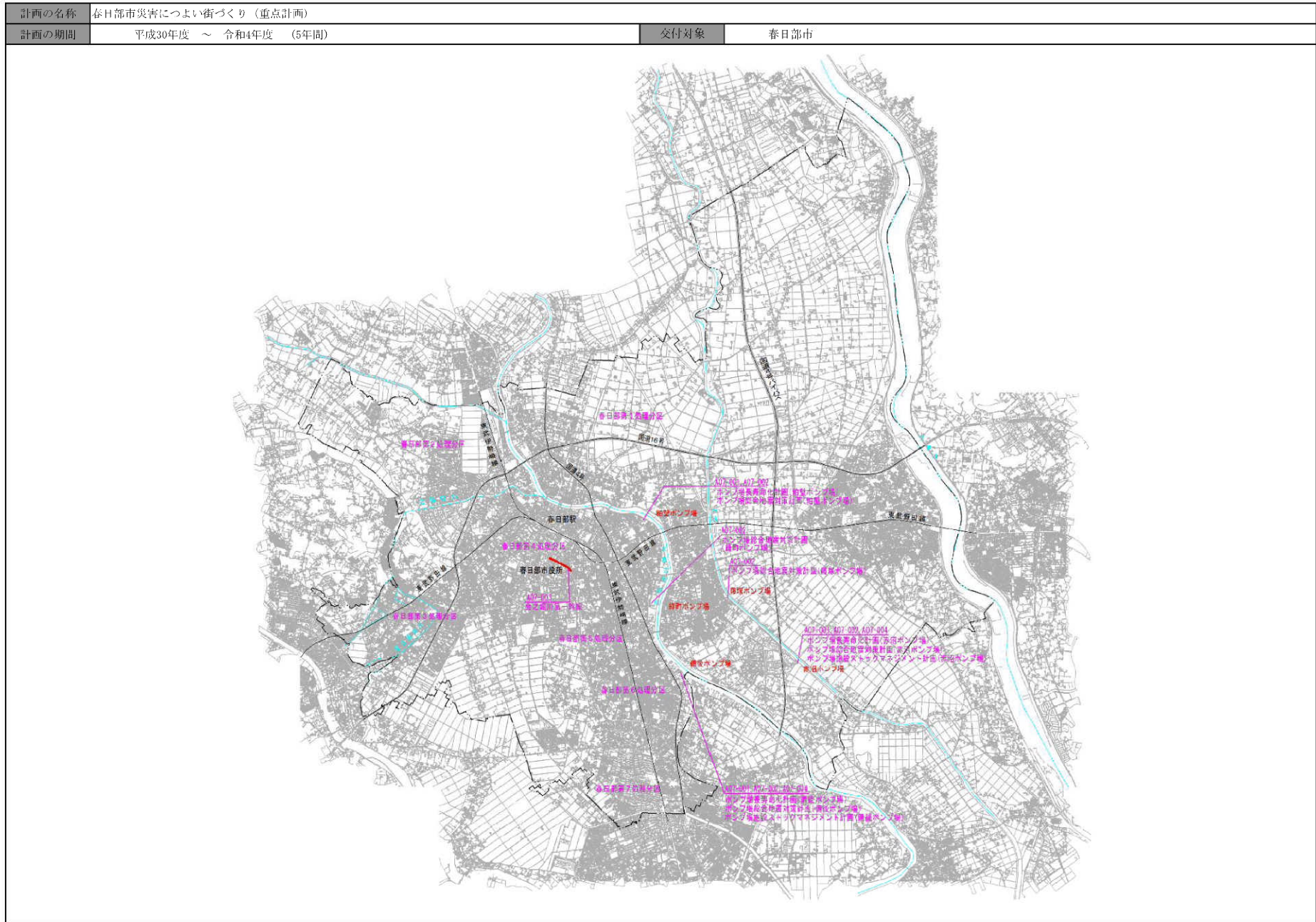
定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況(必要に応じて記述)

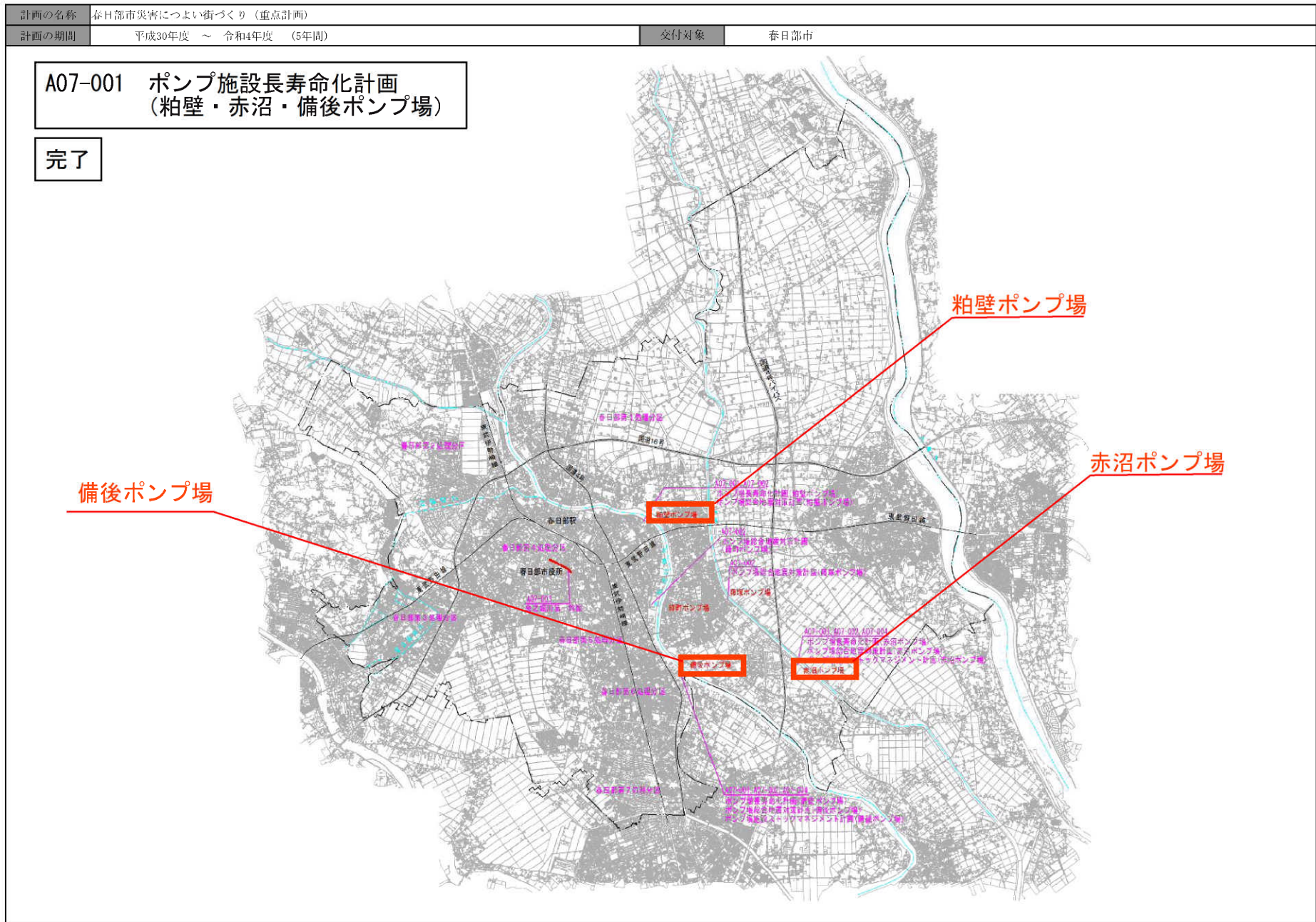
○特記事項(今後の方針等)

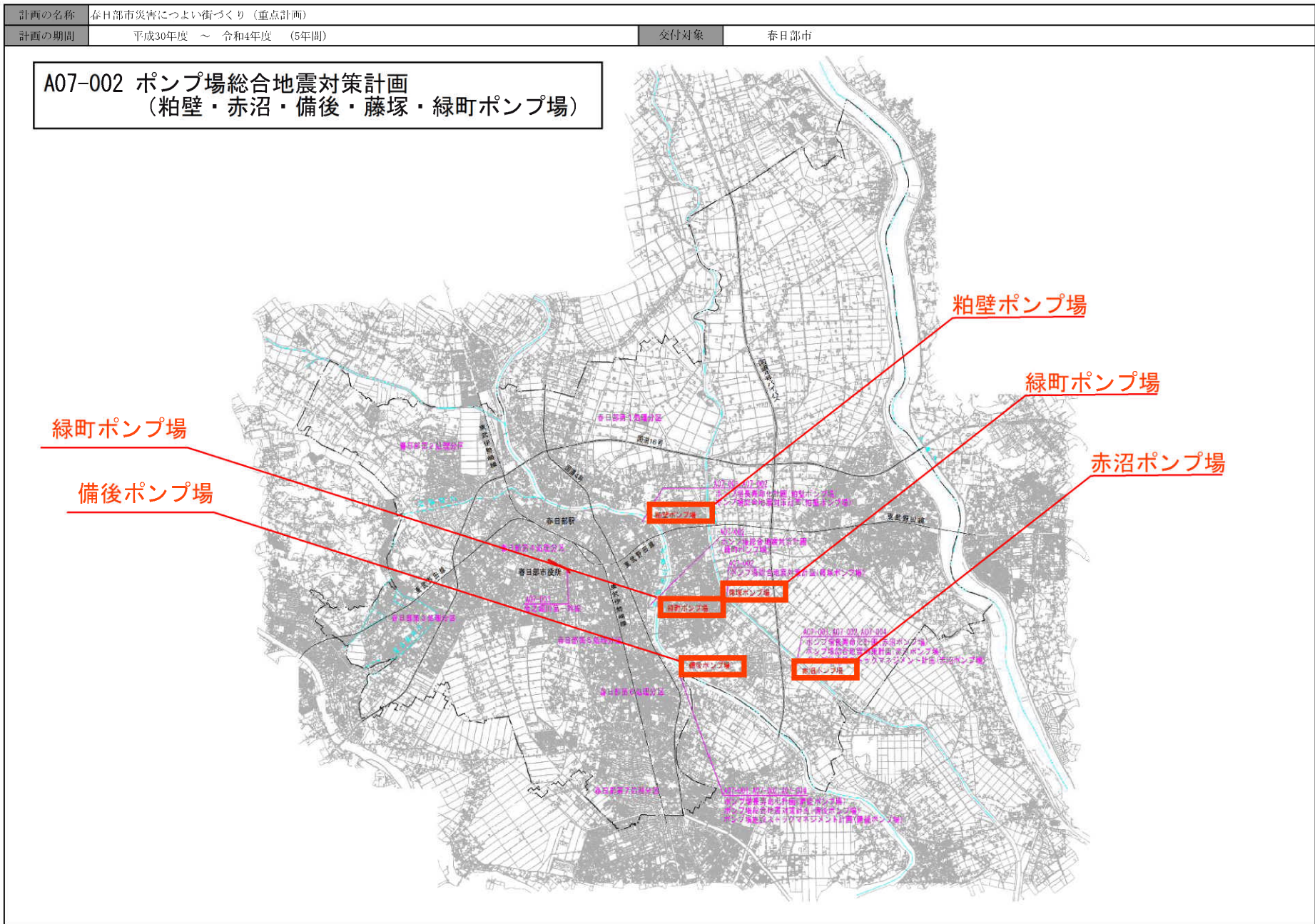
引き続き、防災・安全交付金などを活用し、「春日部市公共下水道ストックマネジメント基本計画」を活用した計画的かつ効率的な改築を推進、「下水道総合地震対策計画」に基づく施設の耐震化を推進することで、浸水被害の軽減を図り、安全で快適な生活環境の維持に努める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	34%
	最終実績値	34%
2	最終目標値	63%
	最終実績値	38%
本計画での耐震補強対象である5か所のポンプ場のうち、藤塚ポンプ場、緑町ポンプ場の2箇所については令和4年度末時点で完成に至らず、最終実績値が38%となった。この理由として、いずれのポンプ場についても耐震補強とポンプ設備の更新を同時に実施しないと施工が不可能であることが判明したことから、ストックマネジメント計画による設備更新と併せて令和8年度までに耐震化する計画に見直したためである。		
3	最終目標値	59%
	最終実績値	53%
本計画の対象である0.98haのうち、0.6haについては令和4年度末時点で完成に至らず、最終実績値が53%となった。この理由として、新庁舎建設、旧庁舎取壊し、跡地に中央町第1公園の整備が予定されており、各事業との調整を実施し、残りの工事対象区間については個別補助により令和9年度までに整備する計画に見直すためである。		
4	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)







(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)

計画の名称	春日部市災害につよい街づくり (重点計画)	交付対象	春日部市
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)		

A07-003 会之堀川第一幹線 (浸水対策)

会之堀川第一幹線

